

肥料調整剤



1kg入
チッ素-リン酸-カリ-Mg
成分 0 - 12 - 10 - 3



チッ素が消化できなくて残ってしまった花

発酵ピーケーマグ

PK+M (ピーケーマグ) リン酸・カリ・マグネシウム・カルシウムの肥料

葉色が異常に濃くなった。葉のフチが波打ってきた。巻きぎみになった。

などはチッ素を過剰に吸い込んだ状態です。

秋の肥料調整、追い込後のチッ素の消化。また生長期にチッ素を吸い過ぎた場合に健全生育に戻す為の肥料調整剤です。(チッ素抜き肥料抜きなどと言われています)

特徴

- 特殊微生物で発酵し、土に吸着されにくく、きわめて吸収しやすく、効果の高い肥料調整剤です。
- 主成分はリン酸・カリ・カルシウム・マグネシウム・等活性化された成分です。
- 秋の肥料調整においては、過剰なチッ素分を強力に消化させ、開花期に円滑に移行させます。
- 生長期に過剰に吸い過ぎたチッ素分はすみやかに消化させ、健全生長を促します。

生育に現れる効果

- 過剰に吸い過ぎたチッ素分をすみやかに消化させ健全生長を促します。
- 徒長を防止し茎葉の充実を促します。
- 花ぐされや花のシミがでにくく、花の肥大を促します。
- 病害虫に対する抵抗性を高め被害を軽減します。

こんな時にこんな使い方

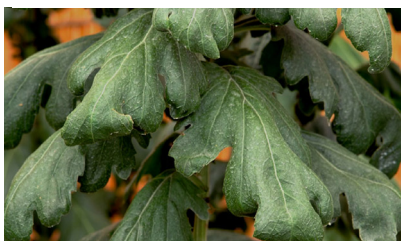
- 1回の使用量
 - 5号鉢 …… 5グラム
 - 7号鉢 …… 5～10グラム
 - 9号鉢 …… 10～15グラム
- 秋の肥料調整 9月中旬～下旬に2～3回使用。
- 生長期(8月下旬まで)において葉色が異常に濃くなった。葉のフチが波打ったり、巻いてきたとき。
- 生長期(8月下旬まで)に2週間に1回定期的に与える。

※詳しくは使い方をご参照ください。

肥料除去剤



1kg入



チッ素過多の葉っぱ

エストール 培養土をリフレッシュし生育促進

葉色が異常に濃くなる。葉が巻き込んできたなどの症状は肥料を与え過ぎ、土に肥料がたまった状態です。このままでは、根ぐされや生育不良が起きてしまいます。また開花期まで続ければ、花ぐされ、花の乱れ、花が大きくならないなどの問題が発生します。

すみやかに肥料濃度を下げ適正にするのがエストールです。

特徴及び効果

- 培養土に過剰にたまったチッ素分をすみやかに除去し、肥料濃度を下げ適正に保ち、健全な生育を促します。
- 肥料は土と電気的に結びついて保持されています。この結合を瞬時に切り離し鉢外に流し落とします。
- 水のみしみ込みも良くなり鉢土全体に均一に拡散ようになります。また排水や通気性など物理性が改善され根の働きや発根力が高まり肥料の吸収がよくなります。

こんな時にこんな使い方

- 500倍に水でうすめ、鉢底から流れ出るまでタップリと掛け切る。さらに引き続き洗い流すようにタップリと水を掛けます。
- 葉色が異常に濃くなり、葉を巻き込んだりと明らかなチッ素過剰と思われる時(肥料を与え過ぎ：根いたみ)
- 根ぐされが出た時
定植後、肥料過多にならないよう、2週間を目安に定期的に使用する。
- 鉢が白く汚れた時(肥料が付着して変化したもの) 300～500倍液の中へ4～5日つけた後、タワシ等でこすり落とし落とす。



ガンコな汚れもよく落ちる



※詳しくは使い方をご参照ください。